



済生会吉備病院



平成23年5月  
済生会は  
創立100周年を  
迎えます

明治44年創立 100周年

# きびこ

No.01  
2011.1  
January

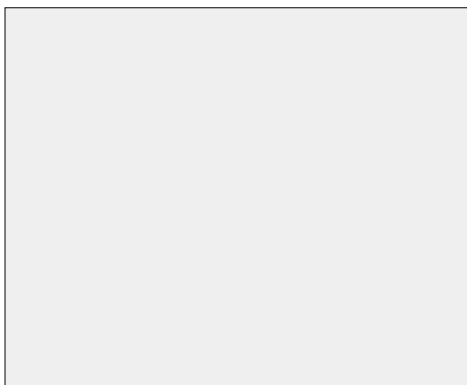
## 基本方針

- 1.患者さんの権利を尊重し、済生の心でまことの医療奉仕につとめます。
- 2.地域の医療機関や福祉施設との連携のもとにリハビリテーションを重視した早期の社会復帰を支援します。
- 3.本院と連携し質の高い医療を提供します。
- 4.安全で快適な療養環境を提供します。
- 5.職員の創意を生かし、患者さんと職員の満足度の向上につとめ、運営の持続的安定を目指します。

## 地域医療と皆様をつなぐ広報紙コミュニケーション

TAKE FREE ※ご自由にお持ちください。

地域に親しまれ  
信頼される病院





済生会吉備病院 院長  
高田真治

新年明けましておめでとうございます。

平成 18 年 4 月に済生会吉備病院が開院してからはや5回目のお正月を迎えました。開院以来、『地域に親しまれ信頼される病院』を目指して、外来、入院、リハビリ、透析、健診などの医療活動とともに、健康教室などの地域活動も行ってきました。皆様の温かいご支援のおかげで、まだ十分とはいえないまでも、しだいに地域に溶け込めてきているのではないかと考えています。

さてこのたび、吉備病院の広報誌「きびっこ」創刊号を発刊することになりました。「きびっこ」というと何となく小学校の学級新聞の名前のようですが、吉備病院のスタッフも常に初心を忘れず若々しい気持ちで皆様に接していきたいと思っています。今後、この広報誌「きびっこ」を通して、吉備病院のことを地域の皆様によりよく知っていただき、より身近な病院となるよう努力していきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

## ●済生会吉備病院、現在までの歩み

2006年	4月1日	済生会吉備病院開設
	18日	竣工式
	19日	見学会(～21日)
	24日	開院(内科・小児科・整形外科・リハビリテーション科・外科・泌尿器科)、電子カルテシステム導入
	5月8日	血液透析開始、婦人科外来開始
	7月1日	回復期リハビリテーション病棟届出(4階はくとう病棟35床)
	9月1日	一般病棟を15床増床(3階ますかっと病棟40床) 5階食堂に一般食堂「きびび」オープン
	3日	落成式、瑤子女王殿下御成り
	10月1日	亜急性期病床届出(3階ますかっと病棟10床)
	12日	吉備病院-本院間ワゴン車搬送開始
11月24日	臨床研修病院(協力型)指定	
2007年	1月9日	足守地区生活バスの吉備病院乗り入れ
	19日	第2駐車場拡張、計75台
	4月1日	日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設認定
11月1日	婦人科外来週1回水曜日に、女性医師へ交代	
2009年	4月1日	脳神経外科標榜届出、外来開始
2010年	1月10日	電子カルテシステム医事システム更新
	2月28日	AEDを1階玄関ホールへ設置(地域へ開放)
	4月1日	日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設認定更新 土曜日外来休診
	5月1日	回復期リハビリテーション病棟へ5床一般病棟より移動 4階回復期リハビリテーション病棟40床 3階一般病棟35床(うち亜急性期病床10床)
	2012年	3月頃



瑤子女王お手植えの  
「やまもも」

## 医療



## 知識

No.1

## AED(自動体外式除細動器)

AED(Automated External Defibrillator)の正式名称は「自動体外式除細動器」といいます。心停止や心室細動といった症状で突然心臓が動かなくなってしまう人に、電気ショックを与え、再び正しいリズム(動き)に戻す機器です。操作に当たり、免許や資格

は必要ありません。正確に音声に従えば、どなたでも操作することができます。



1階エレベーター前に設置

## Q 回復期リハビリテーション病床はどんな病床ですか？

**A** 脳血管疾患又は大腿骨頸部骨折等の患者さんに対して、食事、更衣、排泄、移動、会話などのADL(日常生活動作)の能力向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目標としたリハビリテーションプログラムを医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、ソーシャルワーカー等が共同して作成し、これに基づくリハビリテーションを集中的に行うための病床です。入院可能な疾患・時期・期間に制約があります。

## Q 亜急性期病床はどんな病床ですか？

**A** 急性期治療を経過した患者さんに対し、在宅復帰を目標とした支援を行う急性期後の医療を提供する病床です。退院に向けた指導・計画を回復期リハビリ病床と同様に関係職種が共同して作成します。回復期のような病名の制約はありませんが、入院期間が入室より90日以内で、在宅復帰率が6割以上必要です。

## Q 一般病床はどんな病床ですか？

**A** 平均在院日数 21 日、10:1 の看護基準の病床です。

## Q 老人保健施設とはどんな施設ですか？

**A** 介護保険制度で運用している入所型施設です。65歳以上の要介護1から要介護5と認定された方が対象となります。また、特定疾病に認定された40歳から64歳までの方も利用できます。介護保険法上の入所期間の制限はありませんが、在宅復帰を目的とした中間施設としての位置づけがなされており、リハビリテーションを中心とした医療サービスを提供し、3ヶ月ごとに施設サービス計画(ケアプラン)を作成します。入所費用は、食費・居住費その他の利用料などに加えて介護サービス費の1割がかかります。世帯の所得に応じて4段階に区分された減免の制度が受けられる場合がありますので、詳細は市町村介護保険の窓口にお尋ね下さい。

## NST (栄養サポートチーム)

NST(Nutrition Support Team…栄養サポートチーム)とは、医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、リハビリ療法士、ソーシャルワーカーなどの多職種によって構成され、患者さんの栄養管理を担っています。

当院のNSTでは毎週木曜日

に、摂取量の少ない方、栄養状態が悪い方を中心に回診を行っています。それぞれの患者さんに合った栄養管理を行う事で、より良い治療・早期回復・退院・社会復帰を図ることを目的としています。



NSTカンファレンスの様子



# 済生会吉備病院

## 無料低額診療事業

当院は、社会福祉法に基づき『生計困難者のために無料または低額な料金で診療を行う事業』を行っています。医療費のお支払いにお困りの方は事情に応じて減額等しています。

下記に該当される方は、申請により医療費の減額等が受けられる場合がありますので、ご相談下さい。



### 事業の対象になる方

- ①生活保護受給世帯の方
- ②行旅病人及びホームレスの方
- ③人身取引、配偶者からの暴力（DV）、高齢者虐待、児童虐待の被害者
- ④低所得世帯の方
- ⑤外国籍の方で、日本の保険・福祉制度が利用できず、医療費の支払いが困難な方
- ⑥その他、諸般の事情により医療費の支払いが困難と認められる方 等

上記に該当しない方でも、同程度の事情により、医療費のお支払いが困難な方についても、個別にご相談に応じています。

### 申請の方法

申請を希望される方は、まずは**医療ソーシャルワーカー**にご相談ください。ご来室の際は事前にご連絡下さい。

**医療相談室** **086-287-8655** (代) (平日 8:30 ~ 17:00)

申請書へのご記入、及び**ご本人、ご家族の収入が分かる書類**が必要です。

※印鑑・限度額減額認定証・年金証書・源泉徴収票（給与所得者の場合）課税証明 等

広報委員会でテーマを検討し、1年に数回『健康教室』を開催しています。毎年恒例の「高松農業高校 こぶたちゃんの芸」「高松中学校 吹奏楽部のみなさんによる演奏会」や、当職員による「腰痛教室」「介護のはなし」など、地域の方々との交流を楽しみにを行っています。参加は無料ですので、ぜひお越しください!

## 平成22年度 第1回済生会吉備病院健康教室

# 「肩こりについて」

3階ますかつと病棟／頭士諒子

7月27日(火)健康教室を開催し、十数名の参加がありました。テーマである「肩こりについて」当院の理学療法士の中瀬が講義を行いました。

肩こりとは、肩から腕にかけてのこり感・しびれを呈するもので、現在は原因不明となっています。治療としては、ストレッチなどの対症療法が行われており、説明の後、参加者全員で実際に前屈や首曲げなどの、簡単なストレッチに取り組んでもら

ました。その結果、柔らかくなった方が大半で、体の使い方で柔軟にすることを学びました。

まとめとして、①肩こりは生活習慣を見直す。②いつ、肩こりになりやすいのは、どんな時かを自覚する事。③肩こりは上手に付き合うものと思うべし。④原因不明の改善しない肩こりは医療機関にかかる。⑤決して自己判断しない事。などがあげられます。

今回の健康教室では、講義のなか



にストレッチを取り入れることによって、肩こりの解消を実感することが出来ました。今後も健康教室を通して、地域の方々に親しまれるように、スタッフ一同で取り組んでいきたいと思っています。

## 平成22年度 第2回済生会吉備病院健康教室

# 「やってみよう!介護」

済生会吉備病院リハビリテーション科／中瀬敦士

9月21日(火)に病棟の看護師、介護士の講師による、家庭でできる簡単な介護のステップアップ術を地域の方々と一緒に勉強しました。

今回の健康教室は体験型とも参加型とも言えるもので、日頃気づかなかった点や理解を深めることができる点が最大のポイントでした。

まずは資料を参考に講師による説明があり、基本的なことから日常の介護で起こりうる危険なことの説明がありました。要所では当院の総師

長によるワンポイントアドバイスがあり、分かりやすい内容になっていました。

体験の場面では実際に地域の方々が介護方法の確認やアドバイスを受けながら取り組まれたり、針金ハンガーでトイレペーパーホルダーと新聞紙のゴミ袋を作ったりと、あっという間の1時間でした。

身近なものでいろいろなものが活用できることや、ちょっとしたことで苦勞が減ったりするものということ



改めて実感したように思います。今後もこうした体験型の企画が増えてくると、ますます活発な健康教室になってきそうな予感です。皆様もどんどん吉備病院の健康教室に足を運んでいただいて、体験してみてください!

次回の健康教室は、平成23年2月26日(土)13時～「高松中学校吹奏楽部演奏会」です。生徒さんのアイデアいっぱい!楽しい演奏会です。

お知らせ

## お食事処「きびび」



お食事処「きびび」は、済生会吉備病院の5階(最上階)にあります。南に向けた窓からは、暖かい日差しがふりそそぎ、のどかな風景が見渡せる心地の良い空間となっています。

おすすめメニューは、バランスのとれた日替わり定食、ふっくら卵の親子丼です。コーヒー、ジュースなどもご用意しておりますので、ゆっくりとお食事、お茶をお楽しみ下さい。

外来患者さん、入院中のご家族の方、お見舞いの方、どなたでもご利用できます。家庭的な雰囲気の食堂ですので、お気軽にお越し下さい。

お食事処「きびび」

■営業時間／11:00～15:00

■定休日／土・日・祝日

H23.1.1現在

## 外来担当表

※紹介状は不要です。

※予約は不要です(一部予約制)

●受付時間／午前:8:00～11:30(泌尿器科は11:00) 午後:13:30～16:00

●診察開始／午前:8:30(婦人科、小児科は9:00)～ 午後:14:00～ ●休診日／土・日・祝日(第4木曜／泌尿器科休診)

	内科			循環器	しびれ・頭痛外来	整形	外科	婦人科	泌尿器科	小児科	内視鏡
	①診	②診	③診	③診	③診	④診	④診	⑥診	⑥診	⑦診	
月	午前	古藤直紀 呼吸	糸島達也 肝臓9:00～			小武守正人				上松麻理子 9:00～	
	午後	高田眞治									
火	午前	高田眞治	白石純一 糖尿	松原正樹						伊藤周代 9:00～	古藤
	午後										
水	午前	古藤直紀 呼吸	松原正樹			守都義明		澤井倫子 9:00～			
	午後										
木	午前	白石純一 糖尿	高田眞治		坪井雅弘		筒井信正		担当医 受付8:30～ 11:00まで	上松麻理子 9:00～	
	午後										
金	午前	古藤直紀 呼吸	松原正樹		担当医	守都義明				田中弘之 9:00～	
	午後										

### 編集後記

開院5年目、広報誌『きびっこ』第1号を発刊させていただく事ができました。

『きびっこ』を通じて、吉備病院のことを少しでも知っていただき、地域の方々に親しまれるような広報誌になるよう編集員一同、頑張りたいと思っています。みなさまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。(A.Y)